

2021年11月2日

各 位

会 社 名 東京センチュリー株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 野 上 誠
(コード番号 8439 東証1部)
問 合 せ 先 広 報 I R 部 長 山 下 圭 輔
(TEL03-5209-6710)

埼玉県「中川水循環センター消化ガス発電事業」発電開始式を開催

当社は、月島機械株式会社（社長：福沢 義之、以下、「月島機械」）と共同で、埼玉県（下水道事業管理者：今成 貞昭）と「中川水循環センター消化ガス発電事業」（以下、「本事業」）に係る事業契約に基づいて発電設備を建設し、発電開始式を行いましたので、お知らせいたします。

記

本事業は、民間企業である当社と月島機械が、埼玉県から事業用地の提供を受けるとともに、下水処理場で発生する消化ガス（バイオガス）を埼玉県から購入して、20年間の発電事業を行うものです。発電した電気は、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」に基づく固定価格買取制度（FIT）を利用して、電気事業者に売却いたします。

また、下水汚泥処理の過程で発生するバイオガスは、メタンを主成分とする発電可能な可燃性ガスであり、このような未利用の再生可能エネルギー源を有効活用することにより、温室効果ガスの削減にも貢献できる事業であります。

月島機械は、下水処理場における汚泥処理に強みをもち、汚泥消化設備、ガス貯留設備および発電設備の豊富な実績を誇るとともに、上下水道におけるPFI・DBO事業*をはじめとした「ライフサイクルビジネス」を積極的に展開し、長期事業運営に必要な豊富な実績とノウハウを培ってまいりました。

当社は、リースを祖業とし、国内外のパートナー企業との共創による「金融×サービス×事業」を融合したビジネスモデルを展開しております。経営理念には「環境に配慮した循環型経済社会の実現への貢献」を掲げ、有力パートナーとの協業を通じた再生可能エネルギー事業にも積極的に取り組んでおります。

当社と月島機械は、2017年5月に両社の事業の推進を目的に業務提携契約を締結し、既に複数の消化ガス発電事業の共同事業化を実現しております。本事業においては、当社の「環境・エネルギー事業での実績および金融・サービス機能」と月島機械の「下水道分野での創エネルギー事業」を組み合わせ、それぞれが保有するノウハウを最大限に活用して、安定した発電事業の運営を行ってまいります。

今後とも、月島機械との協調関係の更なる深化を目指し、消化ガス発電事業の拡大による温室効果ガスの削減など、脱炭素・低炭素社会の実現に貢献してまいります。



発電開始式の様子



中川水循環センター消化ガス発電所

■本事業の概要

1. 事業名 : 中川水循環センター消化ガス発電事業
2. 事業場所 : 中川消化ガス発電所 (埼玉県三郷市番匠免3丁目地内)
3. 施設概要 : 消化ガス発電設備 1式 設備容量 1,996kW (ガスエンジン 499kW×4台)
4. 年間発電量 : 約925万 kWh (一般家庭 約2,100世帯相当)
5. 発電事業期間 : 2021年11月 ~ 2041年10月 (20年間) を予定
6. 事業スキーム



※ PFI (Private Finance Initiative) : 施設整備を伴う公共サービスにおいて、民間の有する資金・技術力・効率的な運営ノウハウを活用する仕組み

DBO (Design Build Operate) : 施設整備を伴う公共サービスにおいて、施設的设计、施工、管理運営を民間が一括して行う方式
PFIは施設整備から運営にかかわる資金を民間が調達するが、DBOは公共部門が調達する

以上